

(地域施策推進事業)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
総務企画部	金田 恵	地域企画課	十和田八幡平観光班	赤坂 匡映	0186-22-0457	広域観光連携事業	青森県、岩手県並びに県北ブロックで進めている広域観光の取組を強化し、十和田湖～八幡平～田沢湖に至る観光ゴールデンルートの縦ラインと十和田八幡平～森吉～白神の横ラインのPR強化により、観光資源の認知度向上を図ると共に鹿角地域への誘客促進を強力に推進する。	8,832,015	直営	・桜と雪の回廊観光キャンペーン ・秋の紅葉と温泉観光キャンペーン ・十和田湖ステイネーションキャンペーン ・広域観光復興共同緊急キャンペーン ・県北地域広域観光PR事業 ・教育旅行誘致活動	県	地域住民	平成23年4月1日	震災による直接被害はなかったものの、風評被害により、鹿角地域の観光業が被った影響は甚大であった。このことから、岩手県、青森県との連携を強化し、安全、安心な観光地としての情報発信並びに、被災地支援を実施しながら風評被害の払拭に努めた。地元関係者からは、継続的な事業実施をお願いしたいとの声もあがっている。	青森県、岩手県との広域連携のもと、十和田八幡平を中心とした観光エリアの観光振興を目指す。平成24年度には、秋田ブレDCが行われ、平成25年度の秋田DC、平成26年度のアフターDCと大型観光キャンペーンが続くことから、青森、岩手両県の関係機関との連携強化を図る。
						平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日							平成24年10月26日		
総務企画部	金田 恵	地域企画課	十和田八幡平観光班	進藤 龍平	0186-22-0457	外国人観光客誘客促進事業	鹿角地域に宿泊する外国人観光客(台湾が中心)の増加を図るため、岩手県等と連携し、十和田八幡平エリアのPRを実践する。	2,219,266	直営	・観光博覧会PR ・モニターツアーの実施 ・訪日外国人関係者との情報交換	県	地域住民	平成23年4月1日	インバウンドについても、震災の影響を大きく受けた。東北全体が不安視されている状況から、当初は壊滅的な状況であったが、後半は台湾への直接PRやインターネットを通じた情報発信により、香港からの初のツアー催行やモニターツアーへの参加など、徐々にではあるが、回復の兆しを見ることが出来た。	国内の観光人口が頭打ちとなっているのは全国的な課題であり、鹿角地域においても外国人観光客の誘客は重要である。県あるいは、東北地域と連携しながら誘客活動並びに情報発信を行う。
						平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日							平成24年10月26日		
総務企画部	金田 恵	地域企画課	十和田八幡平観光班	畠山 正寿	0186-22-0457	観光客おもてなしレベルアップ事業	観光客へのおもてなしを向上させ、リピーターの増を図るため、温泉を活用したメニューの磨き上げ、観光案内表示の改善、電気自動車を活用した移動手段の確保に向けた取組を推進する。	549,064	直営	・温泉の案内人を活用した管内温泉のPR ・電気自動車を活用した観光客の移動手段確保に向けた検討	県	地域住民	平成23年4月1日	地域の特徴である自然エネルギーを生かしたツアーの造成やまちづくりについて、市・町、関係機関と一体となった取組を行い、「鹿角エコツーリズム研究会」を設置。鹿角地域においてEVを観光に結びつける取組をすすめるには、インフラ整備の充実、ガソリン車並に走り回れる程度の設備が必要である。	鹿角地域の特長を生かした新たな観光メニューの構築や観光案内人のスキルアップや観光案内板の多言語化といった受入態勢の整備など、観光地としての総合力の向上を図り、観光客のリピーター拡大を目指す。
						平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日							平成24年10月26日		
農林部	倉部明彦	農業振興普及課	産地・技術普及班	杉江 雅之	0186-23-3683	かつの短角牛生産基盤強化・PR事業	鹿角管内で飼養されている日本短角種(以下「かつの短角牛」という。)は、大幅な減少傾向にあるため、その安定生産を図る	1,250,000	直営	①種雄牛の更新にかかる経費の一部助成 ②出荷見合いの肥育素牛導入に係る経費の一部助成	県	秋田県畜産農業協同組合	平成23年4月1日	種雄牛が更新され、安定した子牛生産が推進された。肥育素牛の導入が円滑に進んだ。事業対象者からは大変好評であった。	鹿角市では現在237頭の短角牛を500頭まで増頭する構想があるため、それに向けた各種支援を検討する必要がある。
						平成23年10月24日 ～ 平成24年3月21日							平成24年10月26日		

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
農林部	倉部明彦	農業振興普及課	果樹産地支援班	中村 佐之	0186-25-3231	かつの北限のモモ生産拡大・PR事業	特産品である鹿角産「北限のモモ」の産地化に向け、更なる面積拡大と認知度向上を図る。	1,343,400	直営	①新規にモモを導入した生産者に対する面積に応じた助成 ②首都圏における試食宣伝会 ③モモ+野菜経営農家の経営調査	県	鹿角地域果樹産地協議会	平成23年4月1日	・事業の活用により新規に約250aの面積拡大が図られた。 ・店舗で実際に試食していただくことで、ダイレクトなPRができ、また消費者の反応から今後の改善点等が知ることが出来た。	・面積拡大に向けては、新規作付者の確保と既存栽培者の規模拡大が必要だが、労働力や収益性など、より具体性のある資料を提示しながら栽培をイメージしやすい内容で普及を進める必要がある。 ・首都圏における9月のモモの需要は高いと実感できたが、品質の良い物が求められるため、高品質生産に向けた技術向上が必要である。
						平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日									
総務企画部	金田 恵	地域企画課	企画振興班	小野 仁人	0186-22-0457	エコ先進地かつのづくり推進事業	地熱・水力発電といった自然エネルギーに恵まれ、太陽光パネル製造業者も立地する「エコ先進地」としての鹿角地域を啓発する。	92,690	直営	鹿角市及び小坂町において、「ソーラーキット組立教室」を開催	県	小学生生徒、関係者等	平成23年4月1日	小学生とその保護者32名が参加。ソーラーキットの作成を通じて、太陽光発電の仕組みが理解出来たという声が聞かれた。	振興局管内で新エネルギーを扱う事業者と連携した啓発事業とし、事業効果を一層高める工夫が必要。また、平成23年12月には、小坂町が「レアメタル等リサイクル資源特区」の一部に指定されており、金属リサイクルを推進する観点から、使用済み小型家電製品の回収量アップについての啓発に取り組む必要がある。
						平成24年1月11日 ～ 平成24年1月12日									
農林部	倉部明彦	農業振興普及課	産地・技術普及班	小野寺 徹	0186-23-3683	循環型農業推進事業	直売所の農産物が安全・安心であり、環境に優しい農業を実践していることをアピールするためエコファーマーの育成を推進する。	168,000	直営	①鹿角地域直売、起業リーダー研修会(6/29、20名) ②直売所巡回(エコファーマーマークの使用停止、農薬適正使用等の指導) ③農産物加工会社、直売所の視察研修会(12/7北秋田市他、23名) ④エコファーマーPRポスターの作成(5,000部) ⑤全国エコファーマーネットワーク大会(1/12～13、埼玉県)	県	鹿角地区女性起業活動連絡会、等	平成23年4月1日	・鹿角地区女性起業活動連絡会に加入している直売・加工組織29団体を中心に研修及び視察等への参加を呼びかけ、安全・安心な農作物の生産等について啓発活動を行った結果、農薬の適正使用等の意識が高まった。 ・直売所のエコファーマーPRポスター5,000部を作成し、環境にやさしい農業の実践をアピールできた。 ・キュウリ生産者約210名がエコファーマーの更新を行った。	・直売所等への指導については、随時行う。 ・農薬適正使用については、講習会等を通じた啓発活動を行う。
						平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日									

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金 ・直営	事業実施状況	事業実施 主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	金田 恵	地域企画課	企画振興班	宮原 茜	0186- 22-0457	鹿角を売り出す新 商品開発応援事業	・首都圏等における鹿角食 材のPR及び販路拡大の支援 ・鹿角の元気づくりを推進 し、地元食材の知名度を高 めるとともに、消費拡大や 地域ブランドとしての確立 を図る	639,271	直営	・首都圏における鹿角食材のPRと反響等 のリサーチ ・料理教室の開催 ・かつの牛における食農観推進事業報告 会と料理メニューの紹介・試食会 ・首都圏バイヤーを招聘した商談会の実施 ・チームユニホームの製作	県	・県内外 消費者 ・首都圏 バイヤー	平成23年4月1日	ターゲットを変えながら事業展 開することで、地元における鹿 角食材の普及啓発、首都圏に向 けた食材・観光資源の売り込 み・販路拡大等をより効果的に 図ることができた。	特産品のブランド化、既存商品 の磨き上げ、売り込みなどの課 題は今後も継続した取り組みが 必要である。
						平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日							平成24年10月26日		
総務企画部	金田 恵	地域企画課	企画振興班	赤坂 匡映	0186- 22-0457	鹿角まるごと売り 出し大作戦事業	・十和田八幡平の観光資 源、体験メニュー地域特産 品などを広く広報し、認知 度を高め、誘客促進を図 る。 ・鹿角地域の特 産品を売り込むための情報 発信	2,483,182	直営	・鹿角地域の特産品を売り込むための情 報発信事業 ・八幡平市との共同物産フェア開催	県	地域住民	平成23年4月1日	東北の大消費地であり鹿角地域 も含めた北東北への誘客がもっ とも期待される仙台圏におい て、直接、観光PR及び、特産 品のPRを行うことにより、安 全で元気な観光地の情報発信を 図ることができた。イベントへ の継続的参加により、参加者 の生の声から鹿角地域への誘客 に繋がっている実態をとらえら れる機会となっている。	集客力のあるイベント開催と、 地域特産品PRとの組み合わせ により、効果的な売り込み、情 報発信を図る。
						平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日							平成24年10月26日		